

評価結果



1-1 建物概要

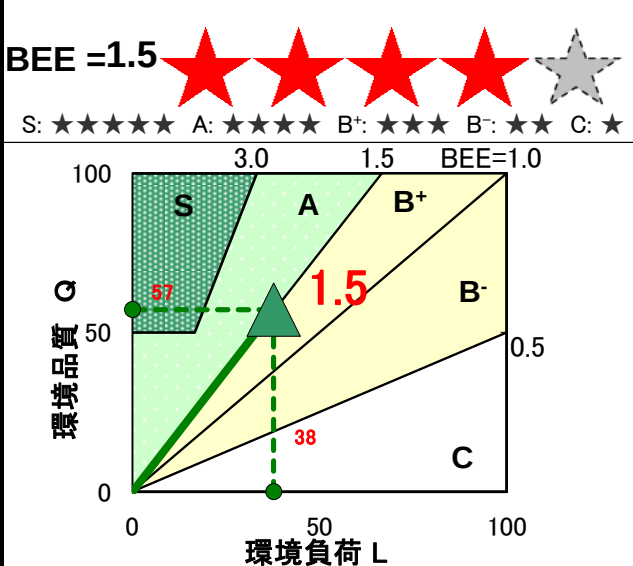
建物名称	広島テレビ放送新社屋
建設地	広島市東区二葉の里三丁目79番11
用途地域	商業地域、準防火地域
気候区分	6地域
建物用途	事務所、物販店、
竣工年	2018年3月 予定
敷地面積	5,098 m ²
建築面積	2,926 m ²
延床面積	19,769 m ²

階数	11
構造	S造
平均居住人員	300 人
年間使用時間	3,650 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2016年8月4日
作成者	楠 敦士
確認日	2016年8月5日
確認者	小島 淳弘

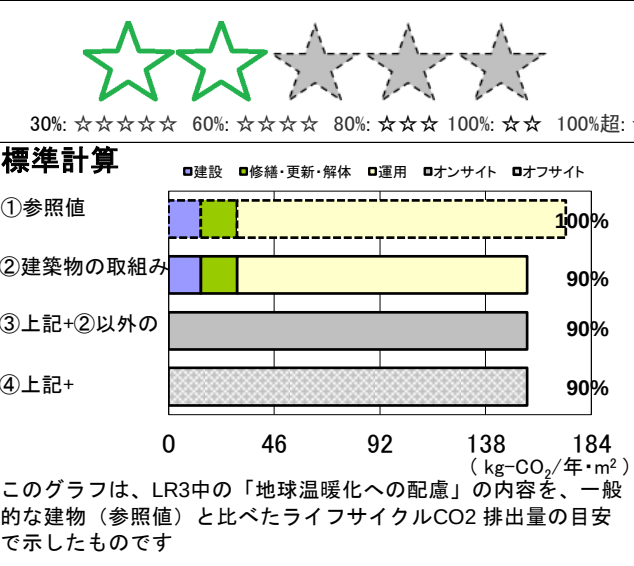
1-2 外観



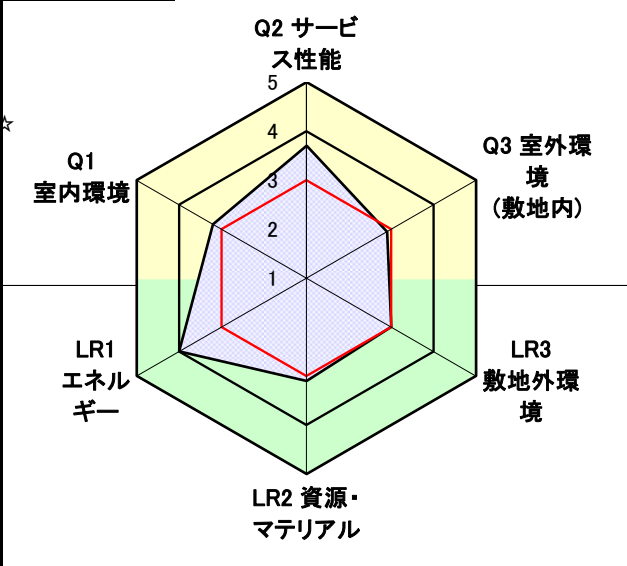
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



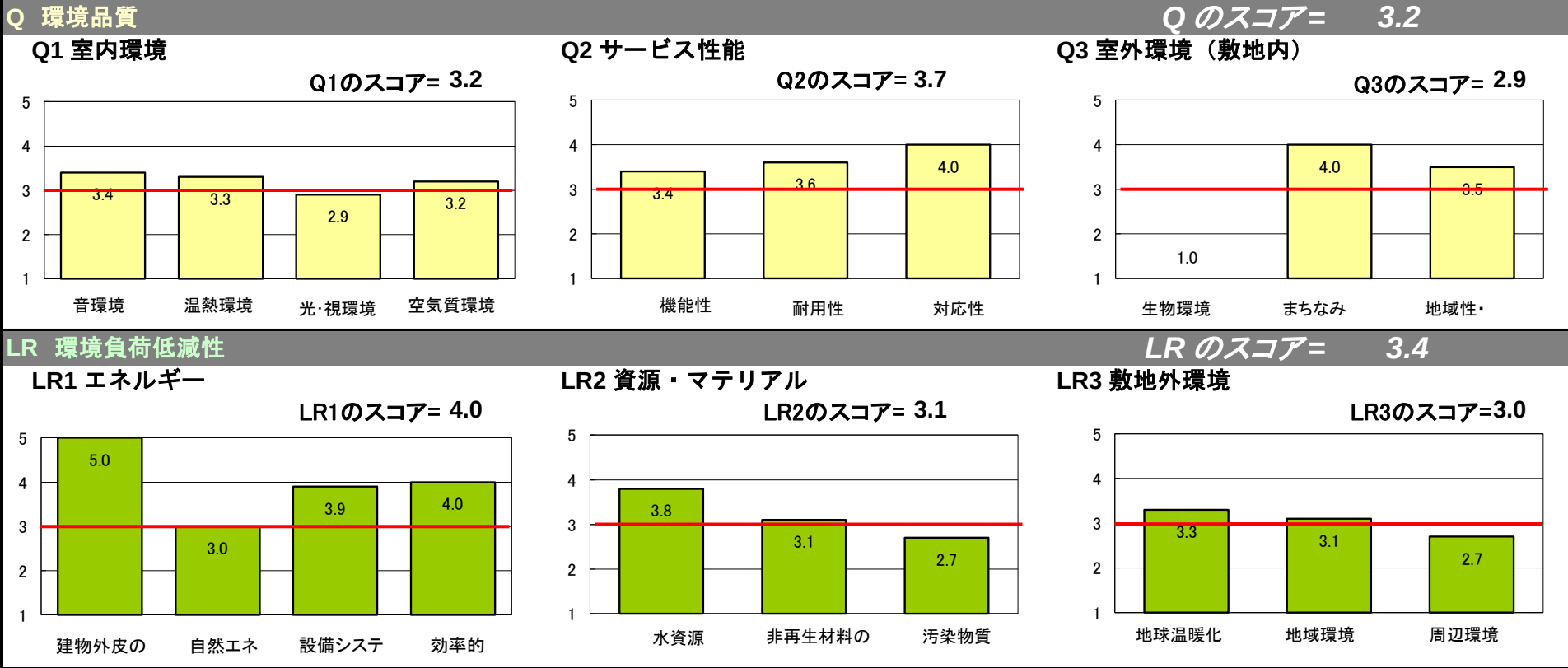
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア= 3.3		
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 3.6	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 2.1	「長寿命化対策」の推進 スコア= 4.0
設計の計画上特段に配慮した事項 事務エリアに面するガラスはLow-eガラス使用し、カーテンウォール部は、縦ルーバーを設置し、熱負荷抑制に配慮している。/ 雨水の中水利用設備を設置している。/ 高効率機器やLED照明を採用している。/ BEMSを設置して、エネルギー消費量を把握し、エネルギー消費の目標量を算出できる計画としている。/ 節水型便器を採用し、雨水を中水利用できる計画としている。内装材には一部リサイクル材を使用する計画としている。/ LCCO2を一般的な建物の排出量で計画している。	設計の計画上特段に配慮した事項 広島市基準に基づく、樹木を設置する計画としている。/ 駐輪場を設置し、交通負荷の抑制に配慮している。広島市の附置義務基準に基づく駐車台数を隔地駐車により確保する計画としている。	設計の計画上特段に配慮した事項 免震構造を採用し、建物の長寿命化を行なっている。内部間仕切りは、躯体と切り離れた乾式壁にて構成し、更新しやすい計画としている。/ 設備バルコニーを設け、各階ごとに空調機を配置するなど、メンテナンスしやすい計画とすると共に、更新時のバックアップ空間も確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される